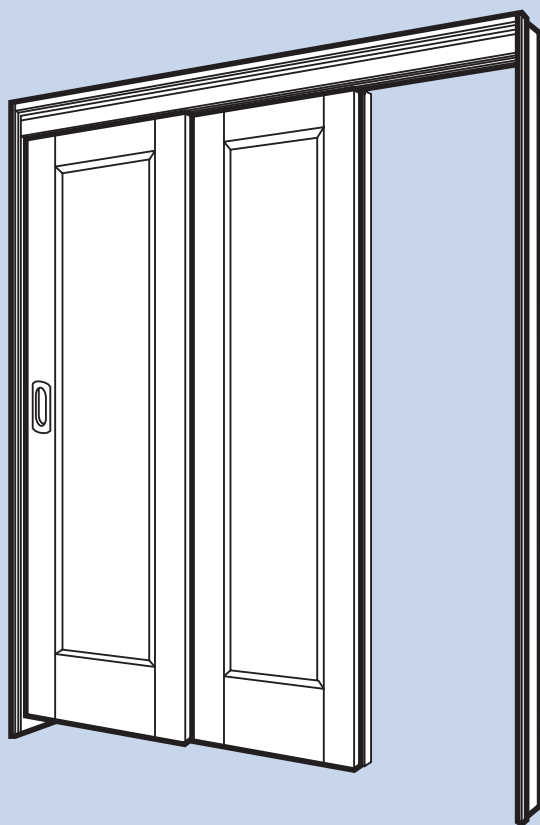
施工説明書・取扱説明書
施工業者様用・お施主様用

※この説明書には扉の調整方法・お手入れ方法が記載されています。
必ずお施主様にこの説明書をお渡しください。

ダイケンリビングドアRⅢシリーズ

クローザー付吊戸 2連片引
2枚連動吊戸

もくじ

●この製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく施工してください。
●この説明書に出てくる⚠**注意**や◆**施工上のご注意**は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。

大建工業株式会社

R3-KC2-101224

1. 安全上のご注意（必ずお守りいただきたいこと）

ダイケンリビングドアを長期安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

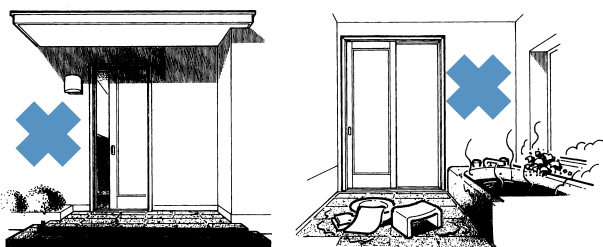
危険の定義とシンボルマーク

この説明書では、「注意事項」を以下のような定義で使用しています。

⚠注意 取扱を誤った場合、施工者または使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合

施工上のご注意

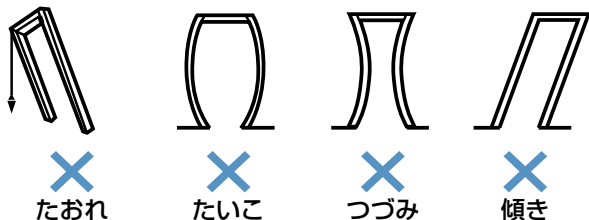
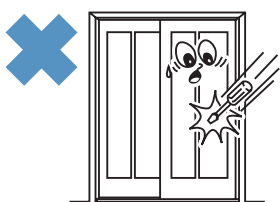
⚠注意

●この引戸は一般住宅用の室内用吊戸です。
他の用途へのご使用はおやめください。

●枠の水平・垂直を確認してから取り付けてください。
―― 扉が閉まりにくくなったり、枠との間にスキマができる原因となります。

たおれ

たいこ

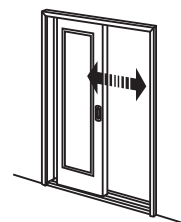
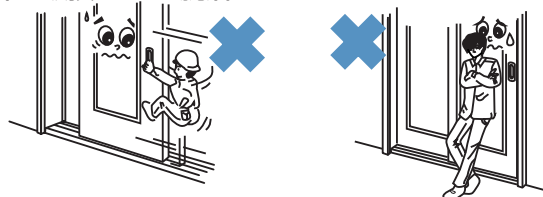
つづみ

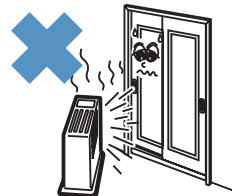
傾き

●扉・枠及び金具、ガラスに工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。
―― 傷をつけるおそれがあります。

●工事が完成するまでの間、扉はたてかけて保管しないでください。

●照明灯、ストーブ等を近づけすぎないでください。
―― 熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

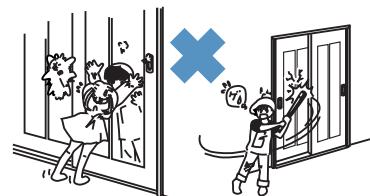
使用上のご注意

⚠注意

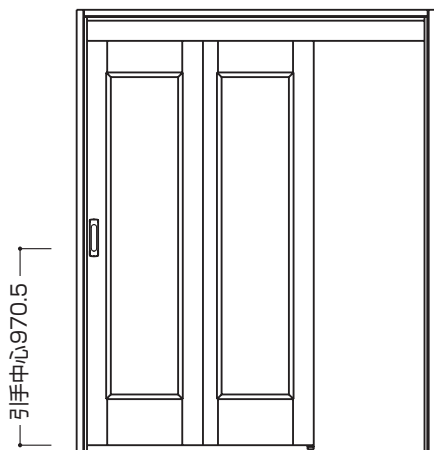
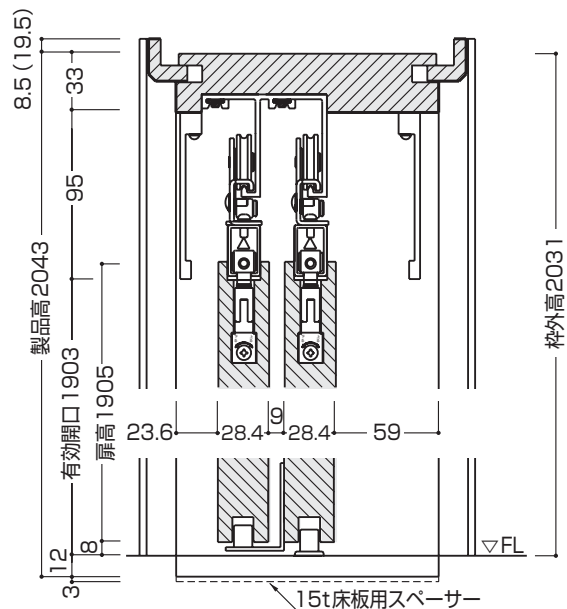
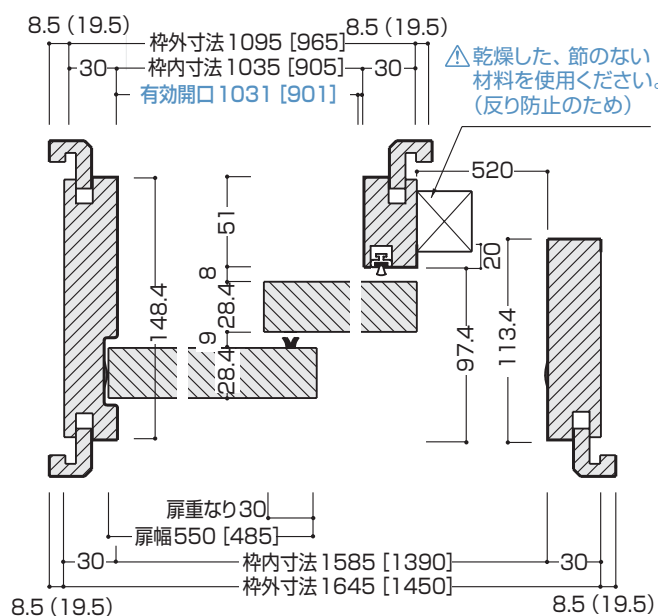
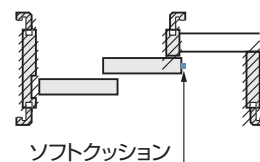
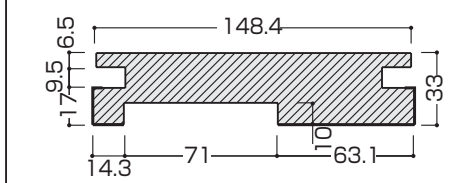
●扉の開閉は、静かに行ってください。
乱暴に扱うと扉が破損したり脱落する恐れがあります。

●扉にぶつかったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。

●扉と枠の間や、扉どうしの隙間に指をはさまないよう注意してください。
特に小さなお子様には十分ご注意下さい。

●ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。

●ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。
ガラスが割れるおそれがあります。
特に小さなお子様には十分ご注意ください。

お手入れの方法

●扉や枠の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。

2. 製品寸法図

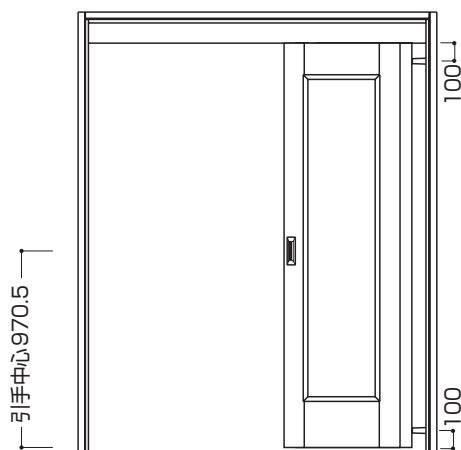
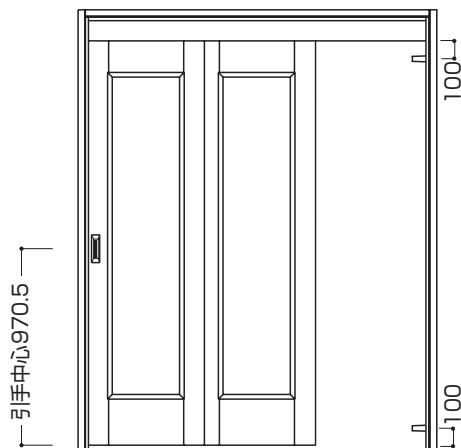
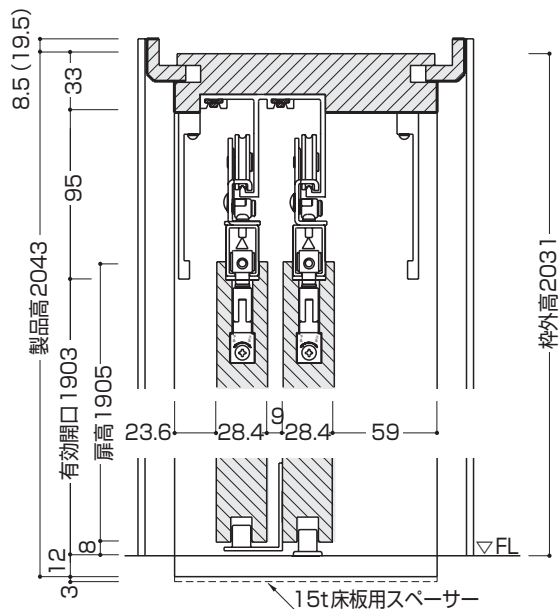
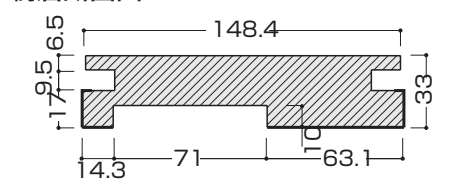
クローザー付吊戸・2連片引

正面図

縦断面図

横断面図

ソフトクッション貼付け位置

鴨居断面図

※図は1645幅の場合
※［　］は1450幅の場合
※図は見切B～C使用の場合
※（　）は見切Aの場合

2. 製品寸法図 （P2のつづき）

2枚連動吊戸

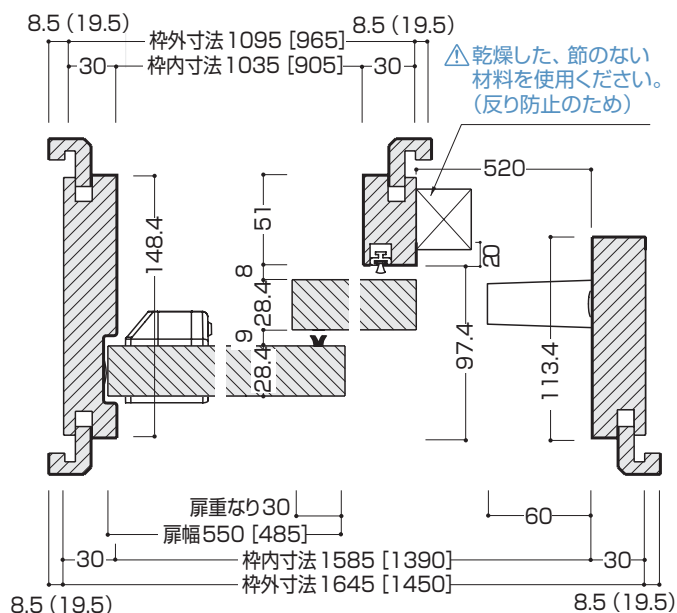
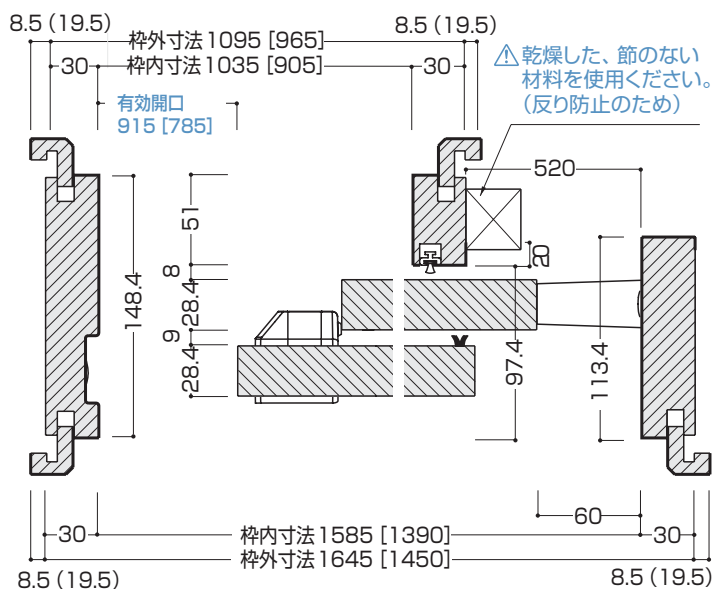
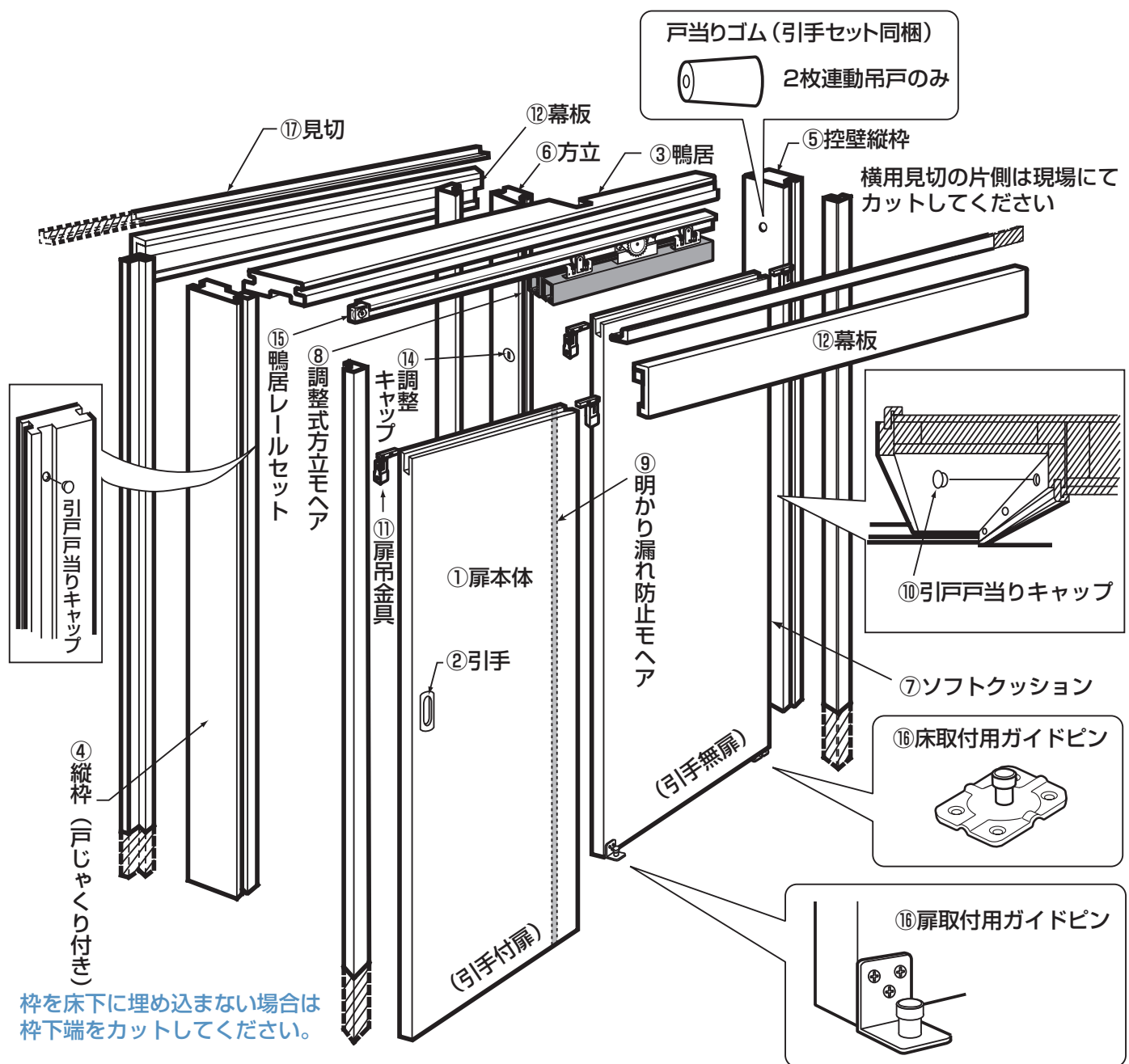
※立体引手は図のように、引手なし扉にぶつかるように取付けてください。
※２枚連動吊戸はソフトクッションの貼付はしません。

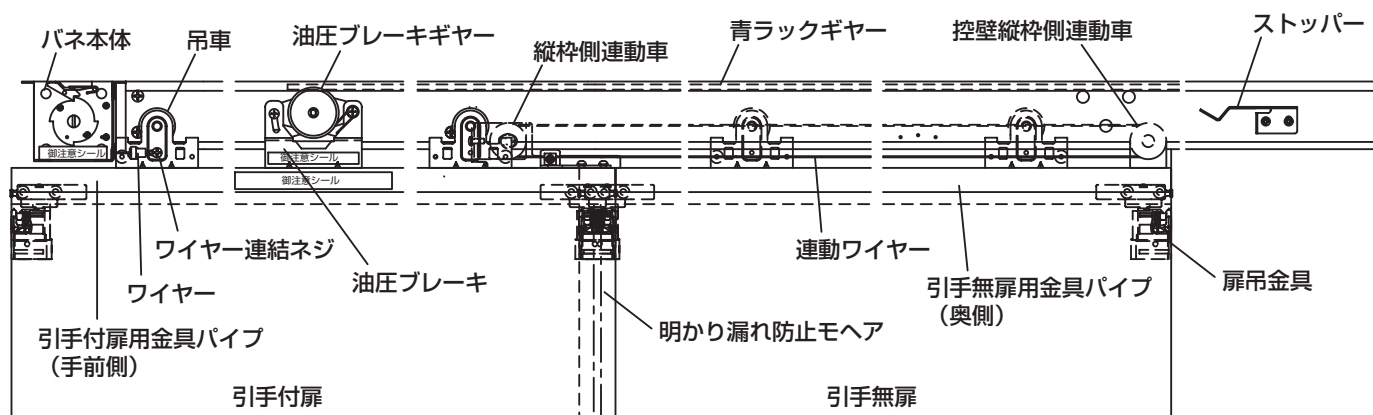
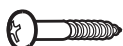
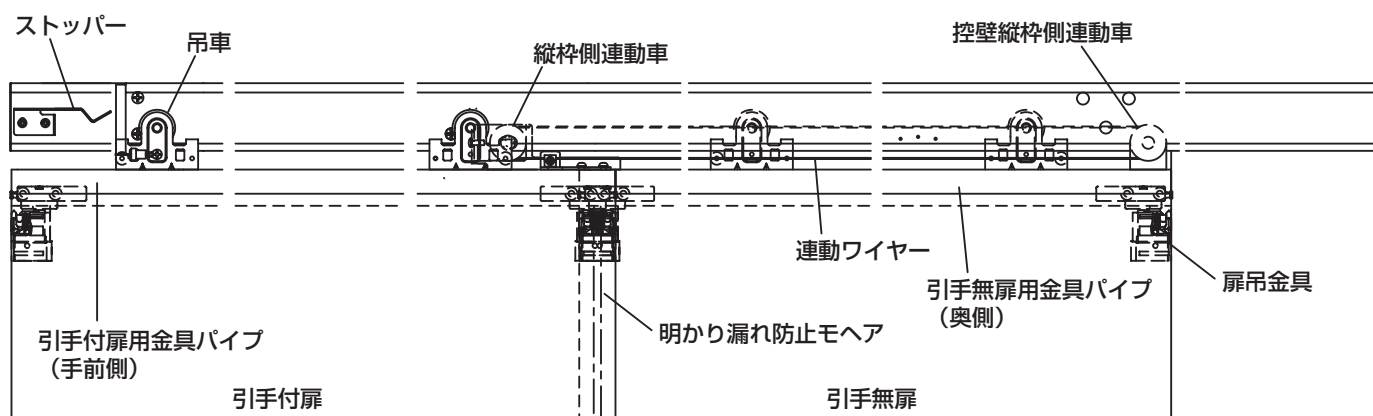
正面図

縦断面図

※図は1645幅の場合
※［ ］は1450幅の場合
※図は見切B～C使用の場合
※（ ）は見切Aの場合

横断面図（閉状態）

横断面図（閉状態）

3. 全体図

戸当りゴム（引手セット同梱）
2枚連動吊戸のみ
⑰見切
⑫幕板
⑥方立
③鴨居
⑤控壁縦枠
横用見切の片側は現場にてカットしてください
⑮鴨居レールセット
⑧調整式方立モヘア
⑭調整キャップ
⑪扉吊金具
⑫幕板
⑨明かり漏れ防止モヘア
引戸戸当りキャップ
①扉本体
②引手
⑩引戸戸当りキャップ
⑦ソフトクッション
④縦枠（戸じゃくり付き）
（引手無扉）
⑯床取付用ガイドピン
（引手付扉）
⑯扉取付用ガイドピン
枠を床下に埋め込まない場合は
枠下端をカットしてください。

4. 金具各部名称

クローザー付吊戸　2連片引　レール

2枚連動吊戸　レール

5. 部材・部品表（施工前に必ず部品を確認してください。）

		部品名称		数量	備考
扉セット	①	扉本体	引手付扉	1	
			引手無扉	1	ガラス扉の場合は扉吊り込み時にガラスの裏表を引手付扉に合わせてください。

		部品名称		数量	備考
枠セット	③	鴨居		1	プレカット済み
	④	縦枠（戸じゃくり付き）		1	
	⑤	控壁縦枠		1	
	⑥	方立（調整式）		1	
	⑦	金具セット	枠組立ビス	6	φ4.2×50
			枠調整ビス	11	φ5.3×55
			ソフトクッション	3	φ8×2
	⑧	調整式方立モヘア		1	方立に取付済み
	⑨	明かり漏れ防止モヘア		1	施工現場にて取付
	⑩	引戸戸当りキャップ		8	
	⑪	扉吊金具		4	
	⑫	幕板	長い	1	
			短い	1	
		幕板取付ビス・受座	丸木ビス	8	φ3.1×25
			座金	8	t3×7.8×17　予備1組含む
	⑬	施工説明書・取扱説明書		1	必ずお施主様にお渡しください。
	⑭	調整キャップ		4	方立に取付済み

		部品名称		数量	備考
機能金具セット	⑮	鴨居レールセット	本体	1	
			取付ビス	10	タッピングビス　ナベφ4×25
	⑯	ガイドピン	床取付用	1	
			扉取付用	1	
			取付ビス	7	皿φ3.1×20

		部品名称		数量	備考
見切セット	⑰	見切	縦用	4	壁厚に合わせて5サイズの中から選んでください
			横用	2	

		部品名称		数量	備考
引手セット	②	引手		1組	

必要梱包 扉セット＋枠セット＋機能金具セット＋見切セット＋引手セット

（2枚）── 引手付扉
└ 引手無扉

6. 施工方法

準 備

◆扉は上吊り式です。
まぐさは、必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。

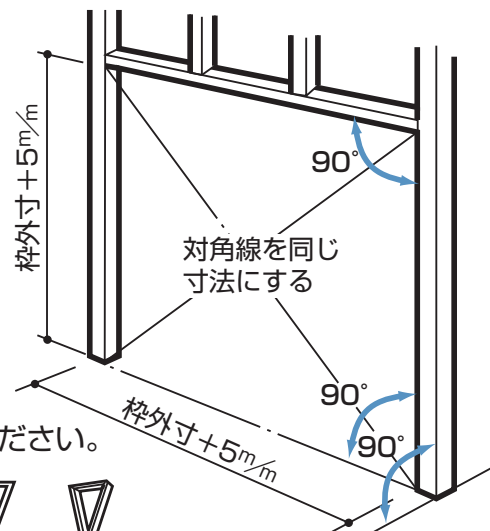
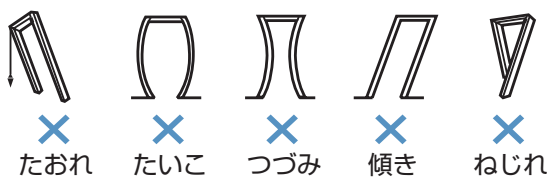
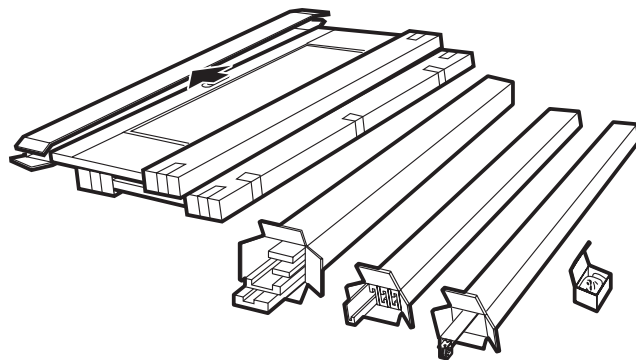
	6尺間口
梁の断面寸法	105×180mm以上

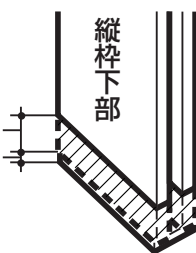
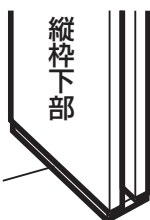
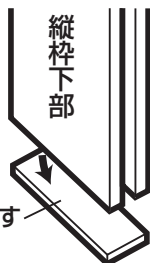
◆開口部の幅・高さの寸法を充分に確保してください。

⚠注意 梁が弱いと上枠が垂れ下り、扉がスムーズに開閉できません。

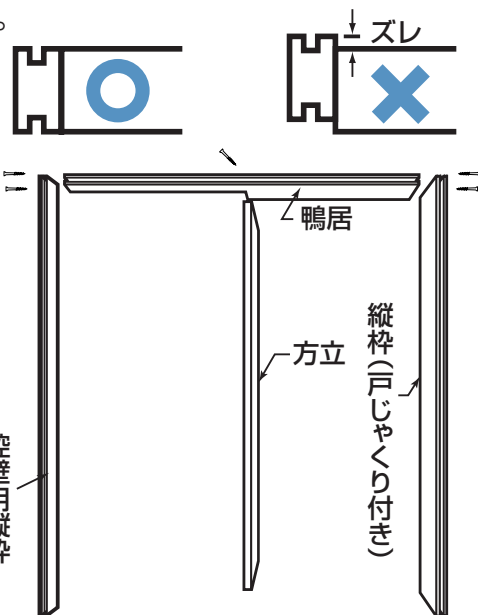
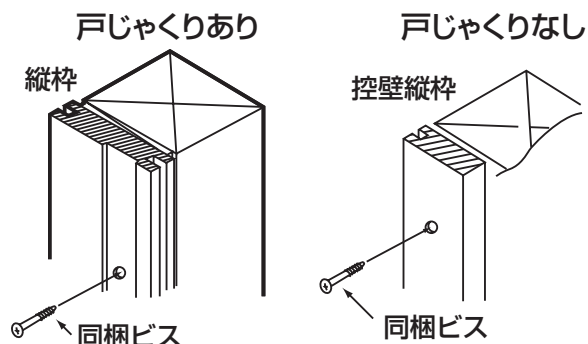
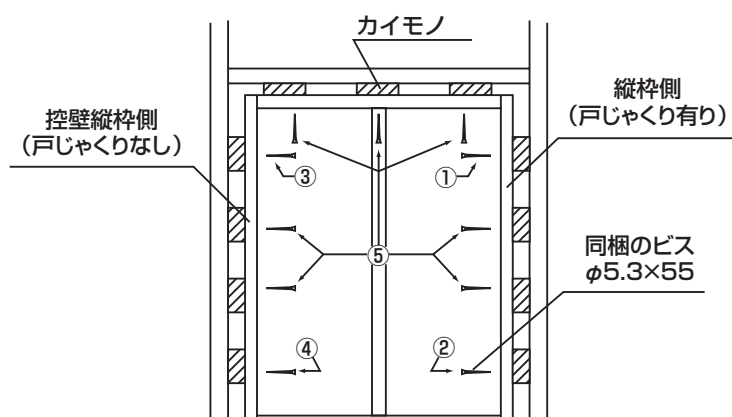
◆柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。

⚠注意

図の様なことがあった場合、扉が閉まらないことがあります。

梱包を開けて部品を確認してください。

施工の前に

・枠を床下に埋めこまない場合：枠下端をカットしてください。

・枠を15mm厚のフロアーに埋めこむ場合：枠はそのまお使いください。

・枠を12mm厚のフロアーに埋めこむ場合：枠下端に付いている"厚み調整材"を取りはずしてください。

下図のように枠を組み立ててください。

見切枠の場合

縦枠と鴨居にずれがないように組み立ててください。

1. 開口部への枠の取付

同梱の枠調整ビスでリード穴から固定してください。

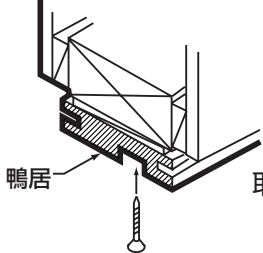
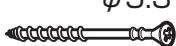
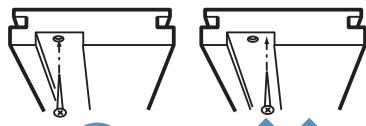
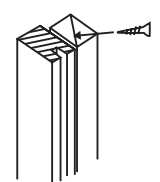
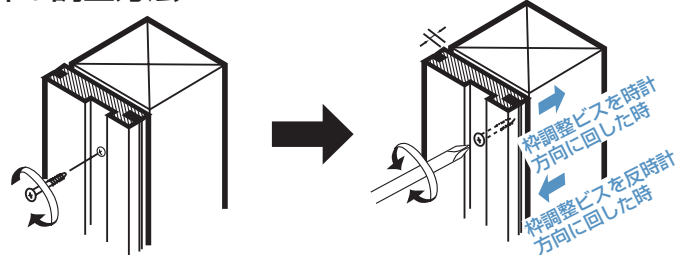
①枠を開口部にはめこんで縦枠側(戸じゃくり有り)の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

②下げ振りを使って垂直をだしてから、縦枠(戸じゃくり有り)の下部を枠調整ビスで仮固定してください。

③水準器で上枠の水平を見ながら控壁縦枠の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

④下げ振りを使って垂直をだしてから、控壁縦枠の下部を仮固定してください。

⑤枠の左右調整は右記の様に行ってください。

⑥枠の前後、左右のたわみがない様に調整して残りの枠調整ビスで本固定してください。

枠の調整方法

(1)まず枠調整ビスで枠を固定します。

(2)枠調整ビスを回すことで、柱と枠の間の隙間を調整することが出来ます。

⚠ 注意 枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。

⚠ ビス固定する時に下記の点を注意してください。

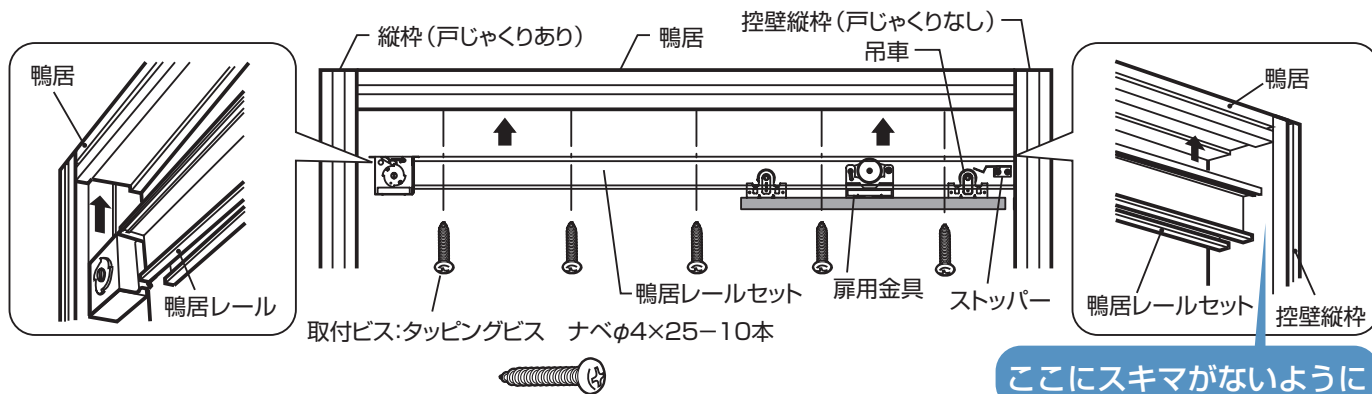
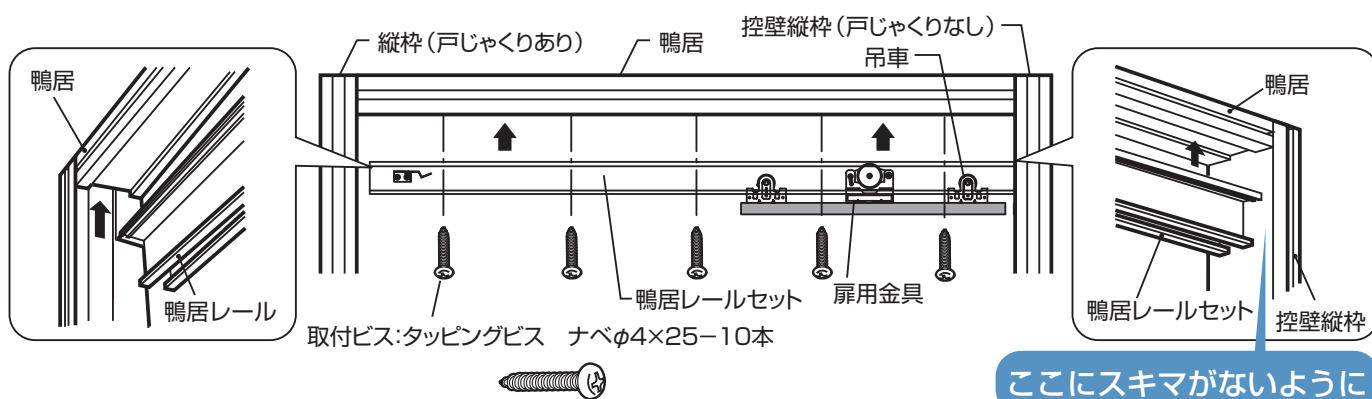
鴨居	方立
鴨居の溝のリード穴から同梱の枠調整ビスで固定してください。 取付ビス：枠調整ビス φ5.3×55 ⚠ 鴨居レールの溝のリード穴に枠調整ビスを打ってください。	裏面からビスで固定してください。(現場調達)

6. 施工方法 (P8のつづき)

2. 鴨居レールセットの取付

※必ず2人以上で作業をおこなってください。

扉用金具の吊車がストッパーにかかっていない状態で、鴨居レールセットと控壁縦枠にスキマがないように取付けてください。

クローザー付吊戸　2連片引

2枚連動吊戸

3. ガイドピンの取付

①扉取付用ガイドピンを引手無扉に取付けてください。

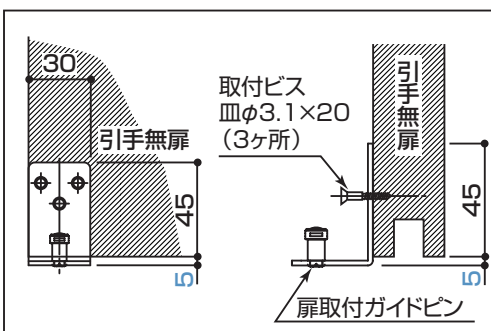
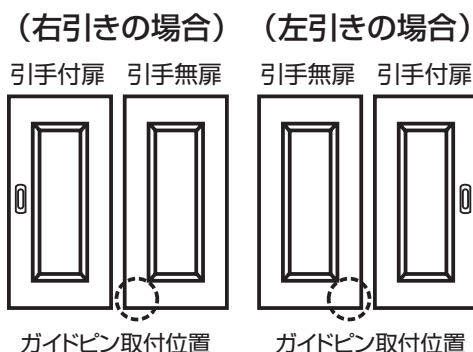
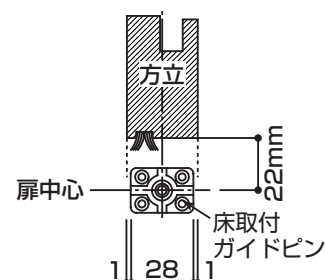
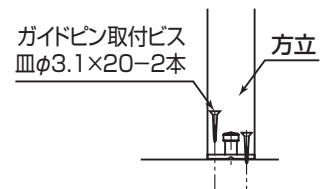
⚠ ガラス扉の場合は、ガラスのザラザラ面が同じ向きになるようにしてください。

左図の引手無扉の位置に下図の通り取付けてください。

⚠ ガイドピンは扉下より5mmとびだす位置に取付けてください。（図は右引きの場合）

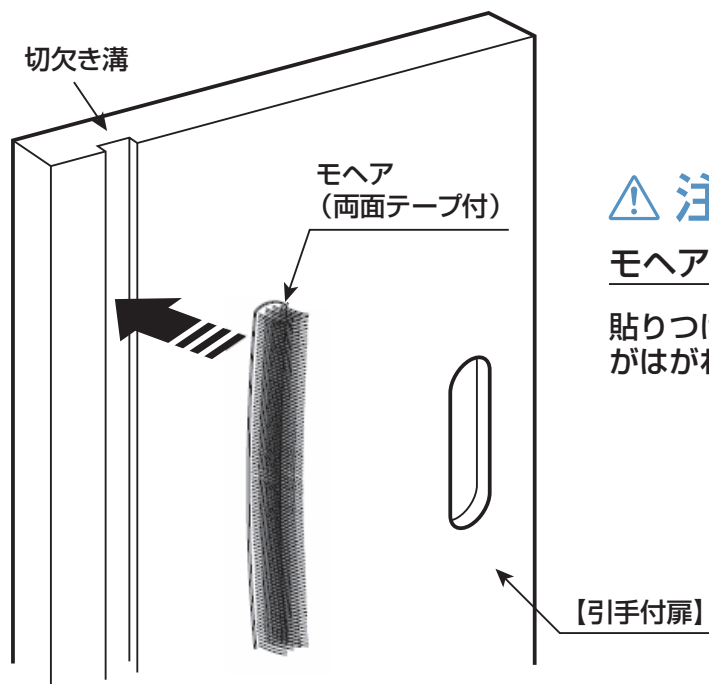
（右引きの場合）　（左引きの場合）

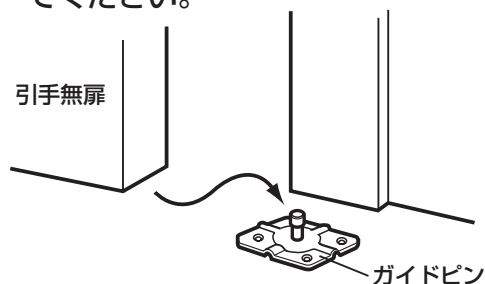
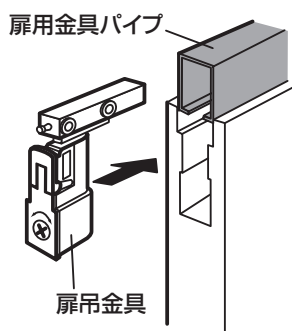
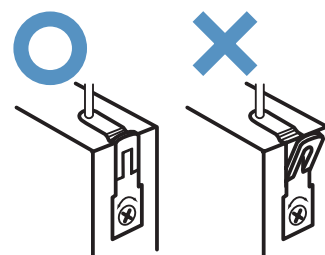
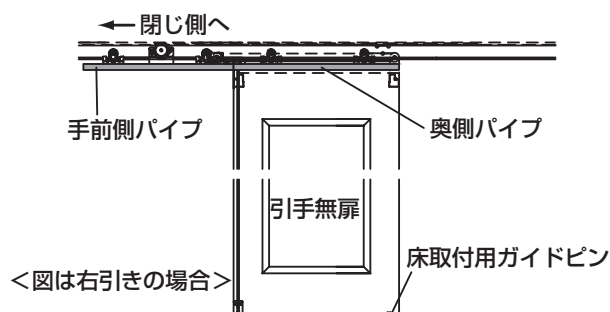
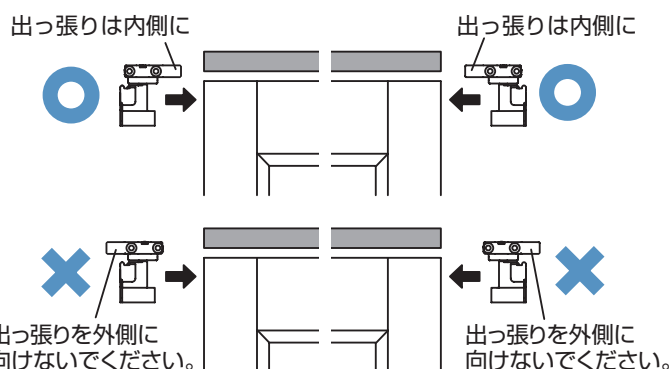
引手付扉　引手無扉　引手無扉　引手付扉

ガイドピン取付位置　ガイドピン取付位置

②床取付用ガイドピンを下図の通り取付けてください。

4. 引手の取付

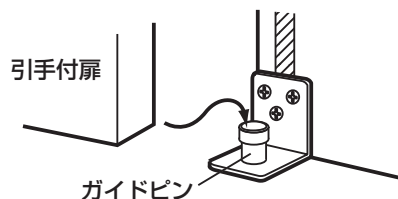
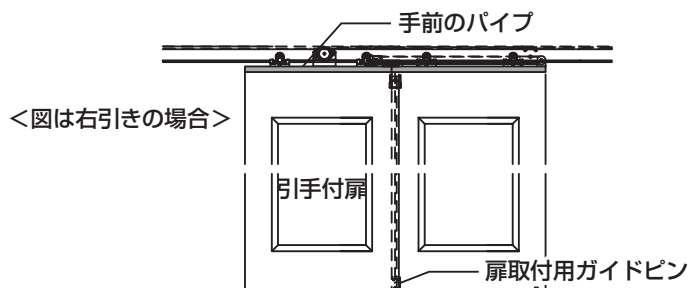
引き手セットに同梱の取付説明書をご覧ください。

5. モヘアの取付

【引手付扉】の戸尻側に加工されている切欠き溝に、モヘアを貼り付けてください。

6. 引手無扉の吊込

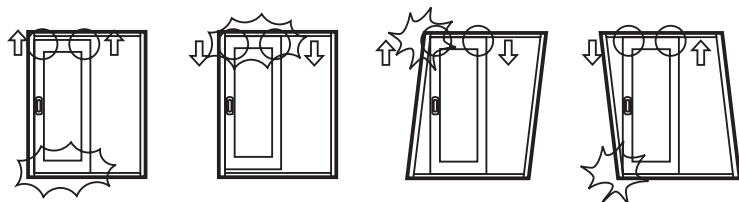
①引手無扉を床取付用ガイドピンにはめてください。

②手前のパイプを閉じ側へずらし、奥のパイプを引手無扉上部溝にはめ、扉とパイプの位置を合わせてください。

③扉吊金具を両木口から差し込んでください。

6. 施工方法 （P10のつづき）

7. 引手付扉の吊込

①引手付扉を引手無扉についているガイドピンにはめてください。

②手前のパイプと引手付扉の位置を合わせて、引手付扉上部溝にパイプをはめてください。

③扉吊金具を両木口から差し込んでください。（※6ー③と同じ）

8. 扉の調整

上下調整（調整可能範囲6mm）

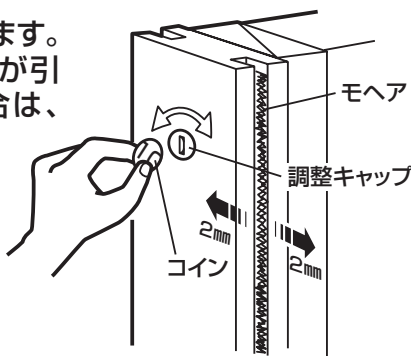
下図のような状態の場合、○印のついた箇所で扉を
矢印：⇨ の方向に調整してください。

9. モヘアの調整

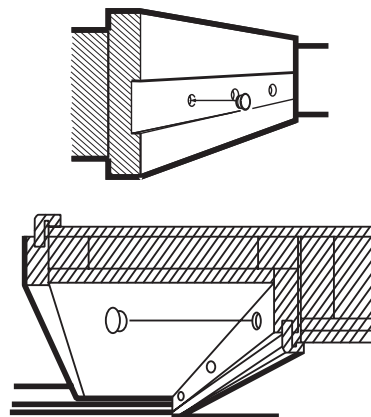
（調整可能範囲4mm）

扉がモヘアと強くこすれる、または扉とモヘアの間から明かりがもれる場合、調整モヘアを下図のように調整してください。

＜右引きの場合＞
時計回りに回すとモヘアが出ます。
反時計回りに回すとモヘアが引き込みます。（左引きの場合は、回す方向が逆になります。）

⚠ 注意

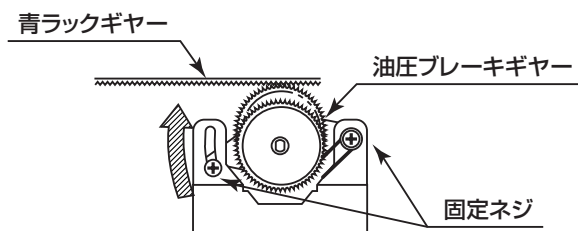
モヘアの調整には、必ずコインをご使用いただき、ドライバーや電動工具は使用しないでください。

10. 戸当りキャップの取付

引戸戸当りキャップを縦枠・控壁縦枠にはめ込んでください。

11. 油圧ブレーキギヤーのセット方法

クローザー付2連片引の場合

油圧ブレーキギヤーと青ラックギヤーをかみ合わせ、固定ネジで固定してください。

①油圧ブレーキギヤーの2本の固定ネジを緩めてください。（バネ力によりギヤーが上にあがります）

②油圧ブレーキギヤーを上にあげて青ラックギヤーとかみ合わせて固定ネジを締めてください。

※油圧ブレーキギヤーと、青ラックギヤーを噛み合わせます。

⚠ **注意**

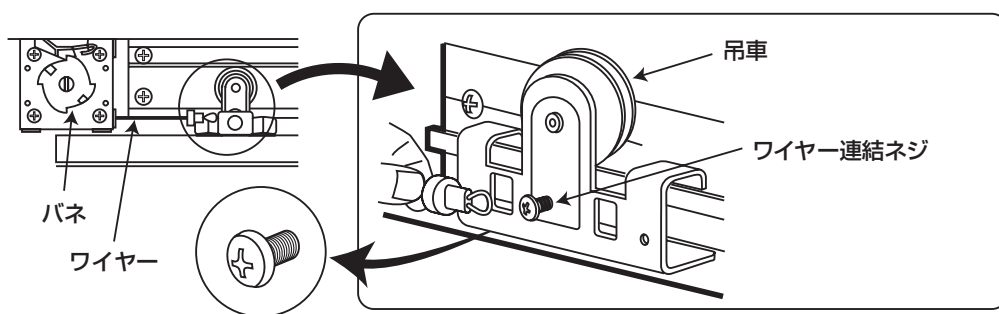
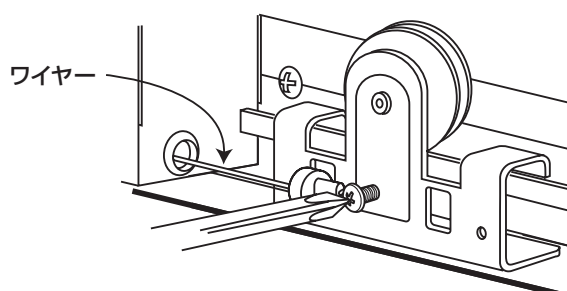
①無理に強く押し上げてかみ合わせると、扉が閉まりにくくなります。

②かみ合わせを深くするとギヤーどうしの音鳴が発生することがあります。その場合、0.5～1.0mm程度かみ合わせを浅くしてください。

12. ワイヤーと吊車の連結

クローザー付2連片引の場合

1）扉を閉めます。

2）バネのワイヤーを吊車のワイヤー連結ネジに引っかけます。

3）ワイヤー連結ネジを締め付けてください。

6. 施工方法 (P12のつづき)

13. バネ・自閉速度の調整方法

クローザー付2連片引の場合

⚠ 注意 自閉速度を変えたい場合のみ下記の手順に従ってください。

※調整手順

1) 扉を全開にして、固定します。
ワイヤーが最大に伸びた状態にしてください。

2) 調整板⑤の固定ネジ⑥2本を抜きます。

3) 開閉速度の調整をしてください。

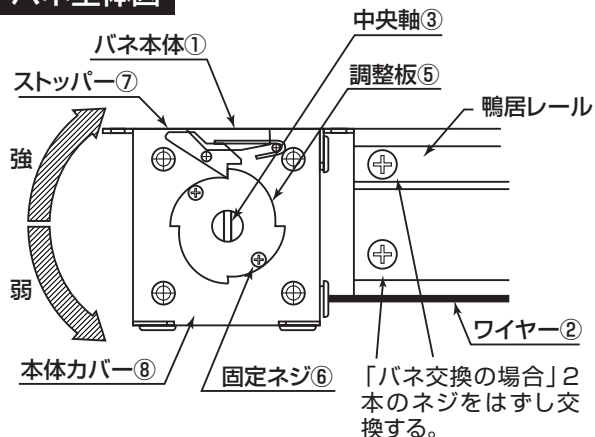
⚠ 調整回転範囲は、『左右へ3回転まで』!!
それ以上回転させると故障します!!

速くする場合
中央軸③にマイナスドライバーを差し込み「強」の方向に回す。

遅くする場合
中央軸③にナイナスドライバーを差し込んでから、ストッパー⑦をおし上げ「弱」の方向に、90°づつゆっくりと回す。

4) 開閉速度の確認をしてください。
再調整が必要な場合は3) の手順を繰返してください。

5) 調整板を固定してください。
調整が完了したら、調整板を2本のネジで固定してください。

バネ全体図

⚠ 注意事項
“弱”の方向に調整するとき、中央軸に差し込んだ⊖ドライバーにて調整板⑤がストッパー⑦に引っかかるように、90°づつ回してください! ストッパーをはずして、⊖ドライバーを引き抜くといっきに回転してバネが戻り故障します!!

14. バネの交換手順

クローザー付2連片引の場合

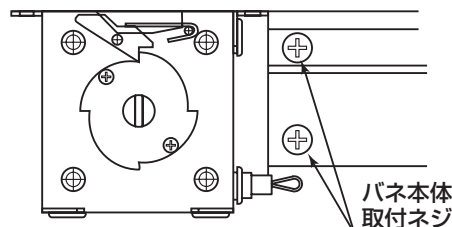
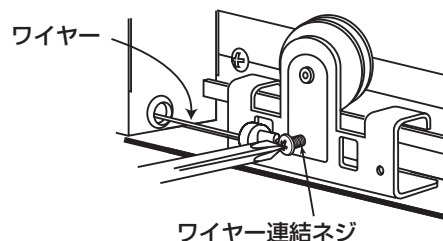
⚠ 注意 バネが故障した場合のみ、バネ交換を行ってください。

1) 正面の幕板をはずしてください。
幕板取付ビスを緩めてはずしてください。

2) 引手付扉に取り付けたワイヤーをはずしてください。
ワイヤー連結ネジを緩めてはずしてください。

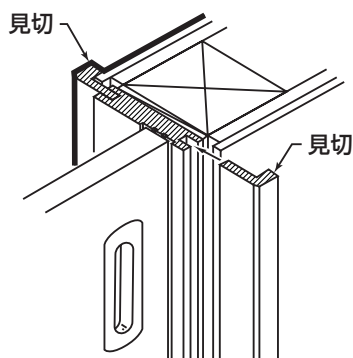
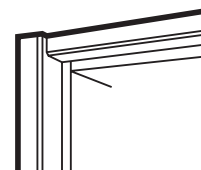
3) バネ本体取付ネジをはずしてください。
鴨居レールからバネ本体取付ネジを抜き取り、バネ本体をはずしてください。

4) バネを交換して、元に戻してください。
1)~3) の手順を逆にして、元の状態に戻してください。

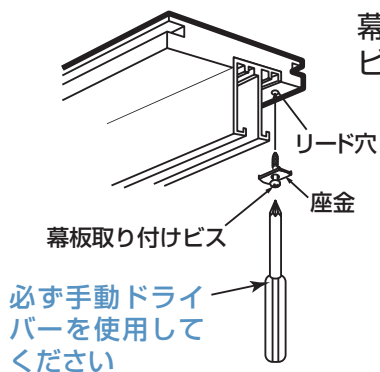
⚠ 注意 バネ本体部品の発注の時は右引(R) 又は左引(L)を指定して発注ください。

15. 見切の取付

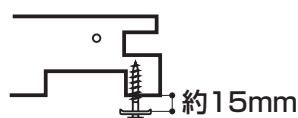
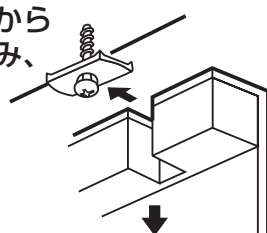
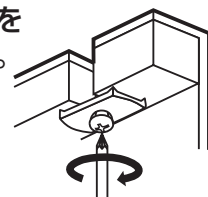
壁の施工が終了してから、見切を取り付けてください。

⚠ 見切に接着剤 （木工ボンド） を塗布してください。

※見切は現場にて現物合せしてカットしてください。

縦勝ちの納めになっています。

16. 幕板の取付

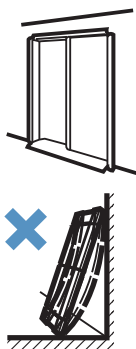
⚠ 見切を取り付けてから幕板を取り付けてください。（ビスが見切溝に飛び出し、見切が奥まで入りません）

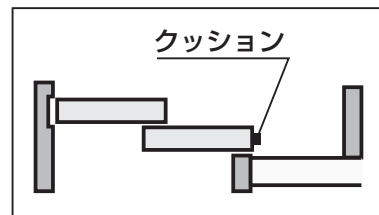
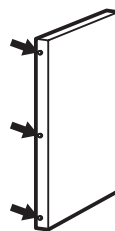
①鴨居のリード穴（7か所）に幕板取付ビス・ 座金を7本、下記の通り取り付けてください。

幕板取付用導き穴に同梱の幕板取付ビスを取付けてください。

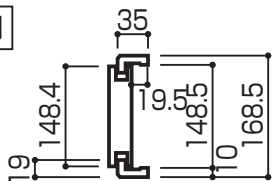
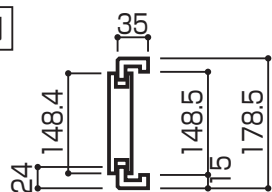
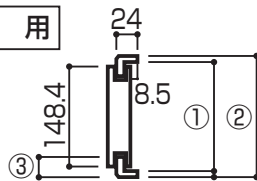
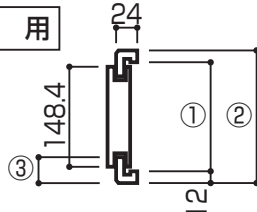
⚠ 座金は下図の様にツメを上へ向けた状態としてください。

②ビスの横方向から幕板をさしこみ、

③ビスをしめて幕板を固定してください。

17. 養　生

工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。

※扉は梱包ケースに再度入れ、平積み保管してください。

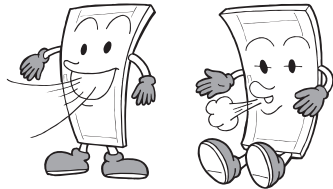
※扉を壁にたてかけて保管しないでください。

クッション材の貼付

扉の横木口の上・中・下の三箇所

壁厚対応

見切A（シンプル）壁厚148.5mm

見切B～C（シンプル）壁厚148.5mm～184.5mm

見　切		B	C
①壁厚		148.5～166.5	166.5～184.5
②枠外寸	横用	162.5～180.5	180.5～198.5
	縦用	172.5～190.5	190.5～208.5
③見切サイズ	横用	22	31
	縦用	27	36

木質材料の性質について

木質ドアの「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた内装ドアは、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は内装ドア周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、内装ドアの室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。

「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、内装ドアに直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。

②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。

③内装ドアに直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は室内側と室外側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

リビングドア

■保証期間

引渡し後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合は有料となります。

①建物の設計・施工に起因する場合
②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合
③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合
④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合
⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など
⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合
⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責によらない場合

ご相談窓口について ●製品に関するお取り扱い、補修、工事などのご相談は、工務店へ。●DAIKENへ直接ご相談される場合は、下記窓口へお願いします。

製品に関するお問い合わせご相談

DAIKENお客様センター
0120-787-505
（フリーダイヤル）

● 携帯・PHSからは
TEL 0570-064-876へお電話ください。
● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理に関するお問い合わせご相談

ダイケンホーム&サービス株式会社
06-4257-3121

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。

http://www.daiken.jp/service/

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶
▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における個人情報のお取扱い
大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。） 尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

営業所	電話
北海道営業部	
札幌営業所	☎（011）207-5330
札幌特販営業所	☎（011）207-5330
旭川営業所	☎（0166）24-1377
函館事務所	☎（0138）47-7191
帯広事務所	☎（0155）25-8421
東北営業部	
盛岡営業所	☎（019）636-1161
仙台営業所	☎（022）243-6621
東北特販営業所	☎（022）243-6621
青森営業所	☎（017）735-8811
郡山営業所	☎（024）946-7211
秋田事務所	☎（018）862-4441
山形事務所	☎（023）632-2711
関東営業部	
埼玉営業所	☎（048）669-0660
宇都宮営業所	☎（028）621-6431
群馬営業所	☎（027）321-5511
新潟営業所	☎（025）285-5887
長野営業所	☎（026）222-6311
長岡営業所	☎（0258）33-5734
熊谷事務所	☎（048）527-5601
松本事務所	☎（0263）40-0370
首都圏営業部	
東京営業所	☎（03）6271-7731
横浜営業所	☎（045）222-4781
千葉営業所	☎（043）287-8491
多摩営業所	☎（042）571-3434
水戸営業所	☎（029）248-8511
静岡営業所	☎（054）288-3881
浜松営業所	☎（053）458-5751
山梨事務所	☎（055）275-7931
我孫子事務所	☎（04）7183-4070
相模原事務所	☎（042）770-9130
中京営業部	
名古屋営業所	☎（052）205-5811
名古屋特販営業所	☎（052）205-5811
三重営業所	☎（059）226-7073
岐阜事務所	☎（058）246-6752
三河事務所	☎（0564）65-8681
北陸営業部	
金沢営業所	☎（076）262-3211
北陸特販営業所	☎（076）262-3211
富山事務所	☎（076）429-7250
福井事務所	☎（0776）26-8508
近畿営業部	
大阪営業所	☎（06）6452-6200
大阪特販営業所	☎（06）6452-6220
リモデル営業所	☎（06）6452-6171
京都営業所	☎（075）341-8151
兵庫営業所	☎（078）321-1822
沖縄営業所	☎（098）879-4916
和歌山事務所	☎（073）473-8090
中国営業部	
広島営業所	☎（082）505-2525
広島特販営業所	☎（082）505-2525
岡山営業所	☎（086）262-2271
岡山特販営業所	☎（086）262-2271
山口事務所	☎（083）974-0303
福山駐在	☎（084）924-7196
四国営業部	
高松営業所	☎（087）866-6260
高松特販営業所	☎（087）866-6260
松山営業所	☎（089）934-7585
徳島営業所	☎（088）624-4210
高知駐在	☎（088）885-6202
九州営業部	
福岡営業所	☎（092）413-2345
福岡特販営業所	☎（092）413-2345
熊本営業所	☎（096）372-5211
南九州特販営業所	☎（096）372-5211
鹿児島営業所	☎（099）254-8300
北九州事務所	☎（093）522-1224
長崎事務所	☎（0957）35-0161
大分事務所	☎（097）533-8701
宮崎駐在	☎（0985）26-5908
東部住宅営業部	☎（03）6271-7721
集合住宅営業部	☎（03）6271-7751
工事建材課	☎（03）6271-7766
リモデル営業部	☎（03）6271-7761
リテール営業部	☎（03）6271-7755
西部住宅営業部	☎（06）6452-6232
集合住宅営業1・2課	☎（06）6452-6243
工事建材課	☎（06）6452-6245
住機製品事業部 営業課	☎（0763）82-5882

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス http://www.daiken.jp/

2010.10 現在